

六甲山の自然案内人としての知識を学ぶために開催されている『エキスパート養成自然講座』のひとつとして、六甲山地における土砂災害と砂防事業について、六甲砂防事務所から出前講座を行いました。

## 概要

日時：平成25年7月27日(土)  
13:00～15:00  
場所：六甲山自然保護センター  
参加人数：約40名  
主催：六甲山自然案内人の会



六甲山地は大都市に隣接しているため、一度土砂災害が発生すると大災害になりやすいという一面を知ることによって、砂防事業への理解をより深めていただき、六甲山のエキスパートとしての活動に役立てていただくため、六甲山自然案内人の会の要請による出前講座を行いました。六甲山自然案内人の会は、山の案内人（ボランティアガイド）や自然を守るための環境保全活動を行っている団体です。

六甲山地で過去に発生した阪神大水害の状況や、六甲砂防事務所の防災への取り組みについて説明しました。また、土石流の映像や模型実験を見ていただき、砂防えん堤の役割を説明しました。

参加者からは、「模型実験や土石流の映像を見て、土石流が発生する様子がよくわかった。」「砂防えん堤が土砂でいっぱいでも、下流に土砂が流れないようにしている様子がよくわかった。」といった感想も聞かれ、土石流の実態と、砂防えん堤の機能について理解を深めていただくことが出来ました。

模型実験の様子



## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

